



## 玄海東小でブルーカーボン学習会を開催 漁師・環境省を招き給食会も実施

12月11日(木)、玄海東小5年生17人がブルーカーボンをテーマにした環境学習をおこないます。宗像市は2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、多様な関係者とブルーカーボンコンソーシアムを組成しています。

当日は関係者を学校に招き、脱炭素を題材としたビンゴゲームや海藻「ひじき」の増殖試験の取り組みなどの説明を通して、脱炭素や漁業振興、地産地消の大切さを学びます。

また、ひじきを使用した給食を関係者と一緒に食べ、より考えを深めていきます。



《ビンゴゲームの様子》



《増殖施設の様子》

### 【ブルーカーボン招待給食会、体験学習発表会 概要】

日時：12月11日(木) 10:40～13:00

場所：宗像市立玄海東小学校(宗像市田野1382)

参加者：玄海東小5年生児童 17人

環境省 大臣官房環境影響審査室長 伊藤 史雄氏

宗像漁業協同組合 代表理事組合長 八尋 時男氏

株式会社エックス都市研究所

内容：10:40～11:25 脱炭素ビンゴゲーム、ひじき増殖試験の学習

11:30～12:15 5年生児童によるウニ殻リサイクル体験学習の発表

12:15～13:00 招待給食(ごはん、鰯の生姜あん、ひじきと大豆の炒め煮、白菜の味噌汁)

※給食は増殖試験のひじきではなく、地元漁業者からの寄贈

### 【補足】

宗像市では、海藻が持つ二酸化炭素の吸収・固定機能に着目したブルーカーボンの取組を推進しています。「あかもく」、「ひじき」の増殖試験を実施。海藻の増殖は、脱炭素への貢献に加え、漁場環境の改善、生物多様性の保全、地域水産業の活性化にもつながることが期待されています。

【問い合わせ先】※ご取材いただける場合は、事前にご連絡ください

宗像市 脱炭素社会推進課 担当：根来(ねごろ)、前田 TEL：0940-36-9875